

算数科学習指導案

東広島市立寺西小学校

下前田 佐由吏

加 藤 秀 雄

岡 田 陽 一

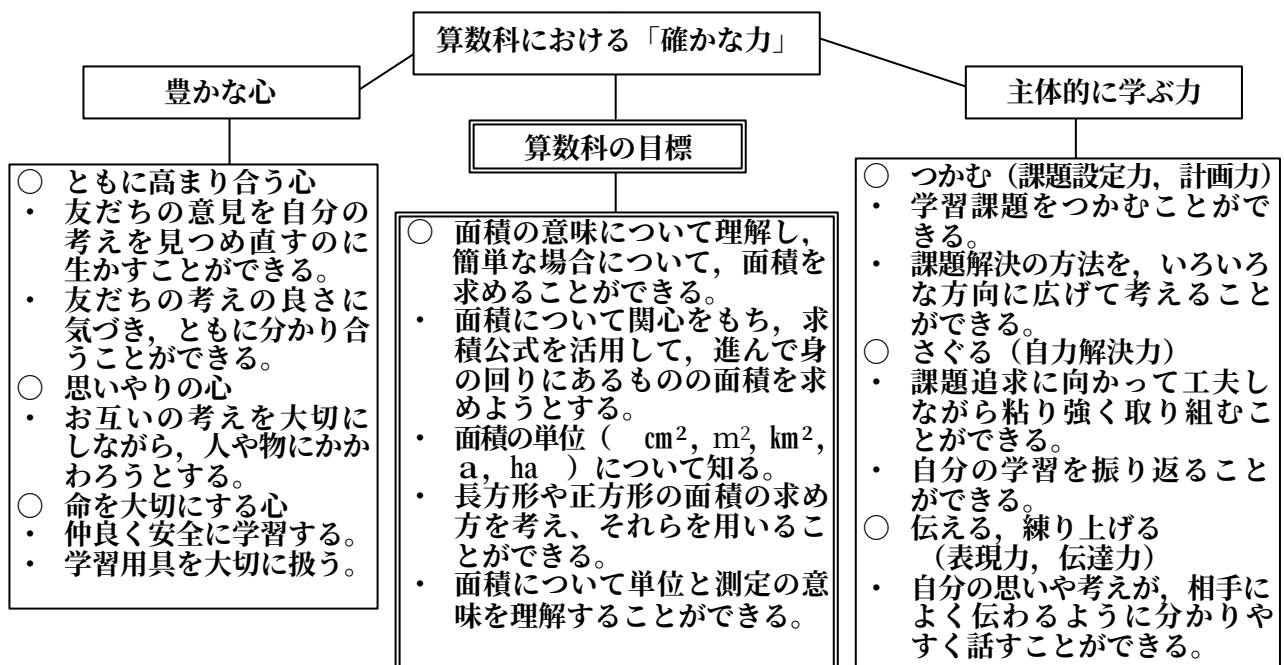
1 学 年 第4学年

2 単元名 面積

3 単元について

- 児童はこれまでに長さやかさの学習を通して、量の概念や普遍単位の必要性について学習してきている。本単元では、今までの既習事項や既有経験を生かしながら、面積の意味について理解させていく。また、広さを面積という量としてとらえることで、簡単な場合について、面積を求めることができるようにする。本単元の学習を通し、面積の豊かな量感もまた育てたい。豊かな量感を育てるとは、本単元で学んだことを日常生活におけるものの見方や考え方に反映させ、生き方を豊かにしていくことだと考える。そのためにも、量的な見積もりができるだけではなく、学んだことを幅広く他のことにも利用できる力を身につけさせたい。
- 本学年の児童は「分かるようになりたい」という思いをみんながもっており、日々の学習に一生懸命取り組んでいる。しかし、「計算ができない」ことを主な理由として、算数に対し苦手意識をもっている児童もいる。また、自信をもって自分の考えを発表することが全体的にもう一歩である。面積という用語は第4学年で初めて出てくるが、児童は平面の広がりについては、ある程度意識ができていようである。また、広さ比べについても、これまでの生活経験を生かし、どちらが広いか（大きい）が直感的に理解できている。しかし、児童の広さに対する概念は、平面的なもの、空間的なものとが入り混じっており、面積を指導するにあたっては、論理的な矛盾を引き起こさないためにも、本単元での広さは平面的なものに限って使うということをしっかりと押さえなければならない。
- 指導に当たってはまず、児童に面積とは平らな面の広さであるということを意識づけながら、身の回りの面積探しを行う。単位導入にあたっては、①直接比較②間接比較③任意単位による比較④普遍単位導入の4段階をとりながら、普遍単位を設定する有用性や必要感を児童がもてるようにしたい。面積の性質については、その保存性や加法性、乗法性をおさえるようにする。また、豊かな量感を養うために、面積の学習と日常生活とのつながりをもたせると共に、陣取りゲームを行ったり、身近にあるものの面積を求めたり、新聞紙や机で1㎡を作り、作った1㎡で実際に敷き詰めてみるなどの算数的活動を十分に取り入れるようにする。本単元では、グループ活動や意見交流の中で、友だちの考えのよさに気づいたり、お互いを認め合ったりすることのできる豊かな心を、また様々な発言の場で4年生なりに、自分の考えを自分の言葉で表現して、相手に伝える力を、第4学年の確かな力の1つとしてつけていきたい。

4 単元の目標



5 単元の評価規準

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
- 身の回りにあるものの面積に関心を持ち、面積の知識や技能の有用さを進んで生活に生かそうとする。 - 面積の大きさを数値化して表すことの便利さに気づく。 - 正方形、長方形の面積の公式をつくり出そうとする。 - 面積の公式の有用さに気づき、身の回りの正方形や長方形の面積を求めるのに公式を使おうとする。 - 正方形や長方形の面積の公式を使って、いろいろな複合図形の面積を自分なりに工夫して求めようとする。	- これまで学習したことをもとに、見通しを持ち、筋道を立てて、面積を調べたり表したりする活動に取り組んでいくことができる。 - 測定する広さに応じた面積の単位を考えることができる。 - 単位となる大きさを基にして、正方形、長方形の面積の表し方を工夫し考える。	正方形、長方形について、必要な辺の長さを測り公式を活用しながら計算によって面積を求めることができる。	- 身の回りにあるもの（はがき、机、教室、花壇など）の大きさを判断することができる。 - 面積を表す基になる大きさ（単位）があることを理解している。 - 単位のいくつか分によって面積を表すことを理解している。 1辺が1cmの正方形の面積が1平方センチメートルであることを理解している。 - 面積の単位 平方メートル、平方キロメートル）について知っている。 - 必要な辺の長さを測ることにより、正方形及び長方形の面積が計算によって求められることを理解している。

6 単元指導計画（全13. 5時間）

次 時間)	小 単 元	学 習 活 動	評 価					
			主に育てたい力	関	考	表	知	方法
1次 (1)	1 面積 (4・5)	・ 面積探しの活動を通して面積の意味を知る。	・ 面積とは平らな面の、線で囲まれた内側の広さであるということが理解できる。	○			◎	活動の様子 発言、ノート ふりかえり
(2)		・ 教室内的のもので広さ比べをする。 (1組 本時)	・ 広さを比べ、広さのちがいを示すことができる。		○	◎		活動の様子 発言 ワークシート ふりかえり
(3)		・ 体育館で陣取りゲームをする。	・ 面積は、単位面積の何個分かで比べられることを見つけ出す。		◎	○		活動の様子 ふりかえり
(4)		・ cm^2 を使って広さを表す。	・ 普遍単位のよさを感じ、面積の単位 cm^2 を理解することができる。	○	○		○	活動の様子 ワークシート ふりかえり
(5)		・ 同じ面積の形づくり。	・ 単位面積の個数が同じなら、形は変わっても面積は変わらないことを理解する。			○	◎	発言 操作の状況 ふりかえり

2次 (6)	2 長方形と正方形の面積 (3・5 練習 (0・5))	長方形の面積の求め方を考える。 (3組 本時)	求積公式の意味を理解することができる。		○		◎	発言 ワークシート ふりかえり
		必要な辺の長さを測って長方形や正方形の面積を求めていく。	必要な辺の長さを調べたり, 求積公式を適切に用いたりして, 長方形・正方形の面積を求められる。			◎	○	発言, ノート 操作の状況 ふりかえり
		複合図形の面積を求める。 (2組 本時)	複合図形の面積が長方形や正方形の和や差で求められることに気づく。	○	◎			発言 ノート 操作の状況 ふりかえり
		必要な辺の長さを測り, 複合図形の面積を求める。	複合図形の面積の求め方を進んで考えようとする。	◎		○		発言 ノート 操作の状況 ふりかえり
		練習問題に取り組む。						
3次 (10)	3 大きな面積の単位 (3)	新聞紙で 1 m^2 の広さをつくる。	$1\text{ m}^2 = 10000\text{ cm}^2$であることを理解する。				◎	発言, ノート 表情 操作の状況 ふりかえり
		グラウンドや畑・田んぼなどの広さを表現する。	単位 a や ha を知り, $1\text{ a} = 100\text{ m}^2$, $1\text{ ha} = 10000\text{ m}^2$であることを単位換算や求積に用いることができる。			◎	○	発言, ノート 操作の状況 ふりかえり
		写真や地図を見て, 大きな部分の広さを表していく。	単位 km^2を知り, 面積にあった単位を考え, 進んで用いようとする。	◎	○			発言, ノート 操作の状況 表情, 動き ふりかえり
4次 (13)	まとめ (1)	既習事項のまとめをし, 練習問題に取り組む。	既習事項を用いて問題を解くことができる。			○	◎	ノート 操作の状況 表情, つぶやき ふりかえり
5次 (14)	チャレンジ (1)	一定の長さのひもを使って, 周りの長さと面積の関係について考える。	周りの長さが一定の場合の面積が最大になる図形を見つけ出そうとする。	◎	◎			発言, ノート 表情, 動き つぶやき 操作の状況 ふりかえり

7 単元学習計画 全13 5時間)

時間	①面積(広さ)の意味	②広さ比べ 本時(1組)	③任意単位による測定
本時の目標	面積とは平らな面の、線で囲まれた内側の広さであるということが分かる。	広さを比べ、広さのちがいを示すことができる。	同じ広さのものを敷き詰めてその数で広さを比べることができる。
学 習 内 容	- 広いと思うもの、せまいと思うものをそれぞれ発表する。 - 面積の意味を知る。 - 広さのことを面積という - 面積とは平らな面の広さのことである。 - 身の回りにある面積探しを行う - 教室内のものについて面積を探す。 黒板・窓ガラス・ドア・つくえなど - 美術館の面積はどの部分を指しているか考え、色を塗る。 - ふりかえりを書く。	- 問題をつかむ。 教室の窓と机の面積を比べよう。どちらがどれだけ広いのかな？ - 見た感じで、比べる。 どういう方法で比べたらいいのだろうか。比べる方法を考えよう - どうやって比べたらいいかを考え、問題解決の見通しを立てる。 - 自分の考えを持つ。 - グループで話し合い、比べ方を決める。 - 実際に比べて確かめる。 - 比べて確かめたことを発表し合う 広さは、重ねたりしきつめたりして比べることができる。 - ふりかえりを書く。	- 体育館の床でじんとりゲームをする。 - 使うもの 敷物(シート) 新聞紙・広告 など - 広さを比べて一番を決める。 広さを比べるにはどうしたらいいのだろうか？ - 広さを比べる方法を考える。 - 任意単位を使って広さを比べ、1番を決定する。 同じ大きさのものをしきつめて、その数で比べればよい。 - ふりかえりを書く。
評価	◎面積とは平面なものに対する、線で囲まれた内側の広さであるということが理解できる。(知・理)	◎自分たちの方法で広さを比べ、広さのちがいを示すことができる。(表・処) ○広さの比べ方を見つけ出すことができる。(考)	◎ 同じ広さのものをしきつめて、その数で広さを比べることができる。(表・処)

時間	④単位面積の理解と求積	⑤単位面積による面積表現	⑥面積の求め方 本時（3組）
本時の目標	普遍単位のよさを感じ、面積の単位？を理解することができる。	面積の保存性について理解する。	長方形の面積の求め方を考え、求積公式の意味を理解することができる。
学習内容	- 前時の学習を想起する。 - もっと正確に広さを比べる方法を考える。 広さをもっと正確に比べるにはどうしたらいいだろう。 - 正確に広さを比べる方法について発表する。 - 普遍単位「cm^2」について知る。 1cm^2の大きさや表し方。 1cm^2を基準にいくつ分かを数えることで、面積をより正確に表すことができる。 - ふりかえりを書く。	- 学習問題をつかむ。 面積が12cm^2になる図形をいろいろと考えてみよう。 - 問題解決の見通しをたてる。 - 単位面積の12個分になるように考える。 - 自分の考えた図形をかく。 - 自分の考えた図形を発表する。 - 単位面積の12個分になっていることを確かめる。 単位面積の数が同じなら、形が変わっても面積は同じ。 - ふりかえりを書く。	- 学習問題をつかむ。 たて4cm横5cmの長方形の面積は何cm^2でしょうか？ - 長方形の面積の求め方を考える。 長方形の面積の求め方を考えよう 1cm^2のタイルを全部に敷き詰めてみる。 - 線を引いて長方形を区切る。 - たてと横の長さに着目してたて×横で求める。 - 各自の面積の求め方を発表し、考え方を交流しあう。 - 最も簡単な求積方法を考える。 - 長方形の面積の公式をまとめる。 長方形の面積 面積＝たて×よこ ＝よこ×たて - ふりかえりを書く。
評価	◎普遍単位の必要性を感じ、面積の単位 cm^2 が理解できる。（知・理）	◎単位面積の個数が同じなら、形は変わっても面積は変わらないことを理解することができる。（知・理） ○同じ面積の図形をかくことができる。（表・処）	◎長方形の面積の求め方を考えることができる。（考） ○長方形の求積公式を理解することができる。（知・理）

時間	⑦辺の長さと求積公式	⑧複合図形の面積 本時（2組）	⑨複合図形の面積の求め方
本時の目標	- 辺の長さから正方形の面積が求められる。 - 面積と辺の長さの関係を理解する。	複合図形の面積が長方形や正方形の和や差で求められることに気づく。	- 必要な辺の長さを測り、複合図形の面積を求めることができる。 - 既習事項の理解を深める。
学習内容	- 学習課題をつかむ。 公式を使っていろいろな形の面積を求めよう - 問題解決の見通しを立てる。 - 面積の求め方を考える。 正方形の面積 面積＝一辺×一辺 - 求めた面積を発表する。 - 面積から1辺の長さを求める。 面積が40cm²で、横の長さが8 cmなら、たては何cmだろう。 - 練習問題をする。 - ふりかえる。 □×8＝40のとき、 □＝40÷8となる。	- 公式の復習をする。 長方形や正方形を組み合わせた図形の面積を求めよう。 - 課題をつかみ、複合図形の特徴をとらえる。 - 面積の求め方を考える。 - マス目の数。 2つの長方形と考える。 - へこんだ部分を引き算する。 - 切り取ったものを動かして大きな長方形をつくる。 - 自分の考えた面積の求め方を発表し合う - いろいろな図形で確認する。 - まとめる。 長方形や正方形を組み合わせた図形の面積は、正方形や長方形の面積の和や差で求められる。 - 既習事項を活用することで求められることをおさえる。 - ふりかえる。	- 本時のめあてをつかむ。 実際に辺の長さを測って面積を求めよう。 - 問題解決の見通しを立てる。 - どこの長さが必要か考えながら測る。 - 自分の考えをまとめる。 - 面積の求め方を発表する。 - まとめる。 いろいろなやり方があるが、やりやすいやり方を使えばよい。 - 練習問題をする。 - ふりかえる。
評価	◎公式を用いて正方形の面積が求められる。 （表・処） ○面積と辺の長さの関係を理解できる。（知・理）	◎長方形や正方形の和や差を用いて複合図形の面積が求められることに気づく。（考） ○複合図形の面積を工夫して求めることができる。（関）	◎複合図形の面積を進んで求めようとする。（関） ○必要な辺の長さを測り、面積が求められる。（表・処）

時間	⑩面積の単位 m^2 について	⑪面積の単位 a や ha について	⑫面積の単位 km^2 と面積の単位換算
本時の目標	- 面積の単位m^2が分かる。 - 面積の単位m^2を活用することができる。	単位 aや haについて知り、活用することができる。	- 単位 km^2について知り、活用できる。 - 面積の単位の換算ができる。
学習内容	- 本時のめあてをつかむ。 1辺の長さが1 mの正方形について考えよう $1m^2$の単位について知る。 $1m^2$は、何 cm^2か調べよう - 問題解決の見通しを立てる。 $1m$は100 cm - 自分で考え、考え方を発表し合う - 縦と横の長さの単位が違う場合について考える。 - まとめる。 $1m^2 = 10000cm^2$ 面積は単位をそろえて計算する。 - ふりかえりを書く。	- 本時のめあてをつかむ。 大きな面積の単位を知ろう aの単位について知る。 1辺が10 m aの単位の面積について考える。 haの単位について知る。 haの単位の面積について考える。 - まとめる。 $1a$は1辺が10 mの正方形の広さ。 $1ha$は1辺が100 mの正方形の広さ。 - ふりかえりを書く。	- 単位 km^2について知る。 - 本時のめあてをつかむ。 いろいろな面積の単位の関係を整理しよう - 問題解決の見通しを立てる。 1辺1 kmの正方形いくつ分か。 - ほかの単位を使って表現する。 - いろいろなものの面積を表現する。 - 身近なもの。 - 地図などの資料から。 - 正方形の1辺の長さと面積の関係をまとめる。 正方形の1辺の長さと、面積の単位には、深い関係がある。 - ふりかえりを書く。
評価	◎ $1m^2 = 10000cm^2$ であることを理解する。(知・理)	◎単位の換算ができる。(表・処) ○ a や ha について理解する。(知・理)	◎面積にあった単位を進んで用いようとする。(関) ○面積にふさわしい単位を考えて用いることができる。(考)

時間	⑬既習事項のまとめ	⑭周りの長さとの面積
本時の目標	既習事項をまとめ、理解を深める。	周りの長さが同じ図形の面積が必ずしも同じではないことを理解する。
学習内容	1. 本時のめあてをつかむ。 習ったことを使って問題を解こう。 2. 教科書20ページの問題に取り組む。 わからない時には、習ったことをふりかえりながら考えていく。 3. 答え合わせをする。 4. ふりかえりを書く。	1. 学習問題をつかむ。 周りの長さが24cmになる長方形や正方形について考えよう - 面積が最大になるもの - 面積が最小になるもの 2. 問題解決の見通しを立てる。 - 作図をする。 3. 自分の考えをまとめる。 4. 考えたことを発表し合う。 5. まとめる。 最大は、1辺6cmの正方形で、$6 \times 6 = 36\text{cm}^2$である。 最小は、いろいろな形があり、$11\text{cm}^2$になる形である。 6. ふりかえりを書く。
評価	◎既習事項を用いて問題を解くことができる。(知・理)	◎周りの長さが一定の場合の面積が最大になる図形を見つけ出そうとする。(関)

8 年間計画 (計 130.5時間)

月	単 元 名	時数	単 元 名	指 導 内 容	用語・記号
4月	じゃんけんゲーム	1	A	10倍, $1/10$ を使ったゲーム	
	大きな数	10	A	・億・兆の位の数の読み方, 書き方 ・数のしくみを十進位取り記数法としてまとめる ・数の相対的大きさ (10倍, 100倍, $1/10$, $1/100$, 数の大小) ・大きな数の加減乗除 ・$\times 3$位数の計算, 末位に0のある計算	一億一兆 和差積商
5月	角	7	B	・角の大きさの単位直角度 ($^{\circ}$) 1直角 = 90度 ・1回転・半回転の意味 ・角の大きさの測り方, 角のかき方, 三角定規の角 ・角度の体験 ・長さと角度を用いた図形の作図	1回転の角 半回転の角 度 ($^{\circ}$), 角度, 分度器
	しりょうの整理	5	D	・資料の落ちや重なりについて検討する ・2つの事柄に関して起こる場合について調べる (二次元表)	
6月	整数のわり算	15	A	・$\div$ (2位数) の計算のしかた, 筆算形式 ・ (被除数) = (除数) $\times$ (商) + (余り) ・商が2・3位数の場合の計算のしかた ・除法のきまり ・除法の虫食い算	かりの商
	とんだ長さ	1	A	・大きな数での倍の計算	
7月	折れ線グラフ	5	D	・折れ線グラフの読み方 ・折れ線グラフの書き方 ・事象を表した折れ線グラフから分かることをよみとる	折れ線グラフ
9月	およその数	6	A	・概数の意味 ・四捨五入の意味としかた, 概数を表す範囲 ・切り捨て, 切り上げ	がい数, 約 四捨五入 上から0けた
	どんなどころでがい数が	1	A	・日常生活の中から使われている概数をさがす	
	ふくしゅう	1	A	・大きな数, 乗除, 文章題, 概数	
	垂直と平行	7	C	・垂直の意味, 垂直な直線のかき方 ・平行の意味, 平行な直線の性質・かき方 ・平行・垂直を使った市松模様の作図	垂直 平行
10月	いろいろな四角形	11	C	・平行四辺形に着目した四角形の分類 ・台形の定義・作図 ・平行四辺形の定義・性質・作図 ・ひし形の定義・性質・作図 ・四角形の対角線の性質 ・正方形やひし形を使ったこい作り	台形 平行四辺形 ひし形 対角線
	式と計算	6	D	・四則・() の混合した式の意味と計算のしかた ・数量の関係を, $\square$, $\triangle$, $\bigcirc$などを用いて表す ・数量の関係を, $\square$, $\triangle$などを用いて表し, $\square$, $\triangle$にあてはまる数を求める ・3を4個使って, 1~10の数を作る	

11月	小数	1 1	A	・ 小数の表し方（小数第二位，小数第三位） ・ 小数の数構成，大小，相対的大きさ，10倍・1/10の数 ・ 小数の加減のしかた ・ 昔の小数の呼称 ・ そろばんでの小数表示と計算	0. 0 1 0. 0 0 1 小数第一位 小数第二位 小数第三位
	面積	13.5	B	・ 面積の概念と測定の意味 ・ 面積の単位cm^2 ・ 長方形・正方形の面積の求め方・求積方式 ・ 面積の単位，m^2，a，ha，km^2 - 単位関係 ・ 周りの長さ 一定の図形の面積	面積， cm^2 公式 m^2 ，a，ha， km^2
	サッカー場で	1		・ 日常生活の中から，算数を使った場面を見つけ，問題を解決する	
1月	分数	1 3	A	・ 帯分数・真分数・仮分数の表し方，相互関係 ・ 単位分数の大小，同値分数 ・ 同分母分数の加減のしかた ・ 整数・小数・分数に共通な加減のしくみ ・ 分数ます作りと測定	帯分数， 真分数， 仮分数
2月	2つの変わる量	6	D	・ 伴って変わる2つの量で，対応関係や変わり方を調べる ・ 数量の変わり方を，□と○を使った式に表し，□や○にあてはまる数を求める	
	正三角形の中に正三角形が	1	D	・ 変化のきまりを見つけ，問題を解決する	
3月	4年のまとめ	8		・ リサイクルを素材にして，算数的に問題を解く ・ 式と計算の順序のまとめ ・ 数と計算のまとめ ・ 量と測定のまとめ ・ 図形のまとめ ・ 数量関係のまとめ	

9 本時〔2時間／13時間〕の目標

◎自分たちの方法で広さを比べ、広さのちがいを示すことができる。

10 展開

	学 習 活 動	教師の支援 (○) と評価 (◎)	確かな力との関わり 主体的に学ぶ力 (☆) 豊かな心 (★)
つ か む	1. 1年生の時の「ひろさくらべ」や前時の教室での「広さ (=面積) さがし」を想起し、今日の問題をつかむ。 教室の窓と机の面積を比べよう ～どちらがどれだけ広いのかな?～	○「教科書」と「ノート」の ように重ねて比べられる物 を提示した後、重ねて比べられない物として教室の「窓」と「机」の広さを取り上げるようにする。	☆今までの活動を思い出し問題をつかむことができる。
	2. 見た感じで比べ、予想を立てる。 どう方法で比べたらいいのだろうか (比べる方法を考えよう)	○どちらが広いかわかり、見た感じで判断し、予想させるようにする。 ◎視覚によって広さを判別し自分なりの予想がもてたか。	★お互いの感じ方を大切にしながら、見た感じで広さを比べようとする。 ☆これから取り組む課題についてつかむことができる。
さ ぐ る	3. どうやって比べたらいいかを考え、問題解決の見通しを立てる。 ・自分の考えをもつ。 ・グループで話し合い、比べ方を決める。	○どんな方法で比べていったらよいか、まず一人一人が自分の考えをもつようにし、その後、グループで話し合い、どの比べ方でやってみるかを決めるようにする。	☆比べる方法を、いろいろな方向に広げて考えてみるができる。 ★お互いの考えを大切にしながら、グループのみんなと話し合おうとする。
	4. 実際に比べて確かめる ・測る ・重ねる ・敷き詰める	○グループのみんな力で力を合わせて比べる活動に取り組めるように、声をかけていくようにする。 ◎広さの比べ方を見つけ出し自分たちの方法で解決しようとしているか。	☆グループで話し合って決めた比べ方で、広さのちがいを比べられるかどうか、工夫しながら、粘り強く取り組むことができる。
ま と め る	5. 実際に比べてみたらどうだったか、発表し合う。 ・それぞれの比べ方の良いところ探しをする 広さは、重ねたり、しきつめたりして、比べることができる。	○児童の考えを板書しながら比較の方法を整理していくようにする。 ◎自分たちの方法で比べてみた結果をみんなに伝えようとしているか。	☆比べた結果について、自分の思いや考えが、相手によく伝わるように、分かりやすく話すことができる。 ★友だちの比べ方のよさに 気づき、ともに分かり合うことができる。
	6. 振り返りを書く	○今日の授業を振り返って、感想や気づきを自分なりに書き留めておくようにする。	☆広さの比べ方について、 自分の今日の学習を振り返ることができる。

11 評価

◎自分たちの方法で広さを比べ、広さのちがいを示すことができたか。

○広さの比べ方について考え、自分の方法を見つけ出すことができたか。

9 本時（6時間／13時間）の目標

◎長方形の面積の求め方を考え、求積公式の意味を理解することができる。

10 展開

	学習活動	教師の支援（○）と評価（◎）	確かな力との関わり 主体的に学ぶ力（☆）豊かな心（★）
つかむ	1 学習問題をつかむ。 たて4cm横5cmの長方形の面積は何cm²でしょうか？ 長方形の面積の求め方を考えよう	○ 具体物を使って分かりやすく学習問題を提示する。	☆話の内容をしっかりと聞き取り学習問題をつかむことができる。
さぐる	2 長方形の面積の求め方を考える。 ・1cm²のタイルを全部に敷き詰めてみる ・線を引いて長方形を区切ってみる ・たてと横の個数に着目し たて×横で求める 3 各自の面積の求め方を発表し、考え方を交流し合う 4 もっとも簡単な方法で、たて3cm横6cmの長方形の面積を求める。	○ 求め方が分からない児童には前時までの学習（1cm²をもとにした敷き詰め）を想起させる。 ○ 長方形のたて、横の意味を分かりやすく説明できるようにさせておく。 ○ 自分自身が考えた長方形の面積の求め方を各自ワークシートにまとめさせておく。 ◎ 長方形の面積の求め方を考えることができたか。 ○ 自分なら、どの方法をこれから使いたいかという視点をもたせておく。 ○ 初歩的な考え方を大切にしながら発表させるようにする。 ○ 同じ考え方の児童に必要があれば補足するように言う。 ○ 理解が不十分な児童には机間指導する。	☆課題追求に向かって、粘り強く取り組むことができる。 ☆長方形の面積を求める方法をいろいろな方向に広げて考えることができる。 ★友だちの多様な考え方を知ること、自分の考えを見直したり、深めたりすることができる。 ☆自分が考えた長方形の面積の求め方を、相手に分かりやすく伝えることができる。 ★友だちの考えのよさを、自分の学びに生かすことができる。
まとめる	5 長方形の面積の公式をまとめる。 長方形の面積＝たて×横 6 振り返りを書く。	○ $4 \times 5 = 20$, $3 \times 6 = 18$の数字をたての長さ、横の長さ面積と対応させながら長方形の面積の求め方をまとめるようにする。 ◎ 長方形の求積公式の意味が理解できるか。 ○ 本時の授業で分かったことや感想等を書くようにする。	☆今日の学習を客観的に自己評価することで次の学習に生かすことができる。

11 評価

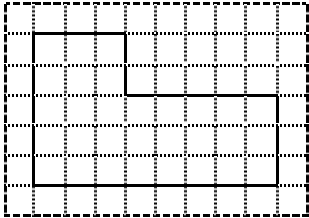
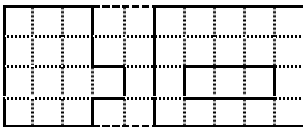
◎長方形の求積公式の意味が理解できたか。（知）

○長方形の面積の求め方を考えることができたか。（考）

9 本 時（8時間／13時間）の目標

◎ 長方形や正方形の和や差を用いることで、複合図形の面積が求められることに気づく。

10 展 開

	学 習 活 動	教師の支援 ○)と評価 ◎)	確かな力との関わり 主眼的に学ぶ力 (☆) 豊かな心 (★)
つ か む	1. 公式の復習する。 正方形 面積＝1辺×1辺 長方形 面積＝たて×よこ 2. 課題をつかみ、複合図形の特徴をとらえる。 長方形や正方形を組み合わせた図形の面積を求めよう。		☆ 1つの複合図形を様々な角度からとらえ、面積を求めやすくする操作について様々な考えることができる。
	3. 面積の求め方について考える。 ・ マス目をかいて数える。 ・ 2つの長方形を、足し算する。 ・ 大きな長方形からへこんでいるところを引く。 ・ 切り取ったものを動かして大きな長方形をつくる。 4. 面積の求め方を発表し合う。 ・ 長方形の和や差で求められることに練り上げていく。	○ 問題解決の見通しを立てるため、個人が具体的に操作できるように型紙を用意する。 ○ 見通しの立たない児童には、ヒントカードや具体的操作を通じて、感じ取らせるようにする。 ○ 自分の考えや、友だちの考え方に従って型紙を切ったりできるようにする。 ◎ 複合図形を長方形や正方形の組み合わせととらえ、長方形や正方形の和や差を用いて面積が求められることに気づいたか。 ○ 自分の意見が持てない児童に対して机間指導を行う。	☆ 既習事項をふりかえり、活用しながら学習を進めていく。 ☆ 自分の求積方法をはっきりと伝え、そのやり方の良さをみんなに伝えることができる。 ★ みんなの多様な考えを自分のものにし、その考えの良さをみんなで共有していこうとする。
ま と め る	5. いろいろな図形で確認する。  6. まとめる。 長方形や正方形を組み合わせた図形の面積は、正方形や長方形の面積の和や差を用いることによって求めることができる。	○ 新たに図形を提示し、すべての求積方法がいつも使えるとは限らないことに気づかせる。 ○ 予想を立ててから求積のしかたを判断させる。	
	7. ふりかえりをかく。	◎ 複合図形の面積を適切に求めることができる。	☆ 複合図形の求積について自分の学習をふり返ることができる。

11 評価

◎複合図形を長方形や正方形の組み合わせととらえ、長方形や正方形の和や差を用いて複合図形の面積が求められることに気づいたか。

○複合図形の面積を適切に求めることができたか。